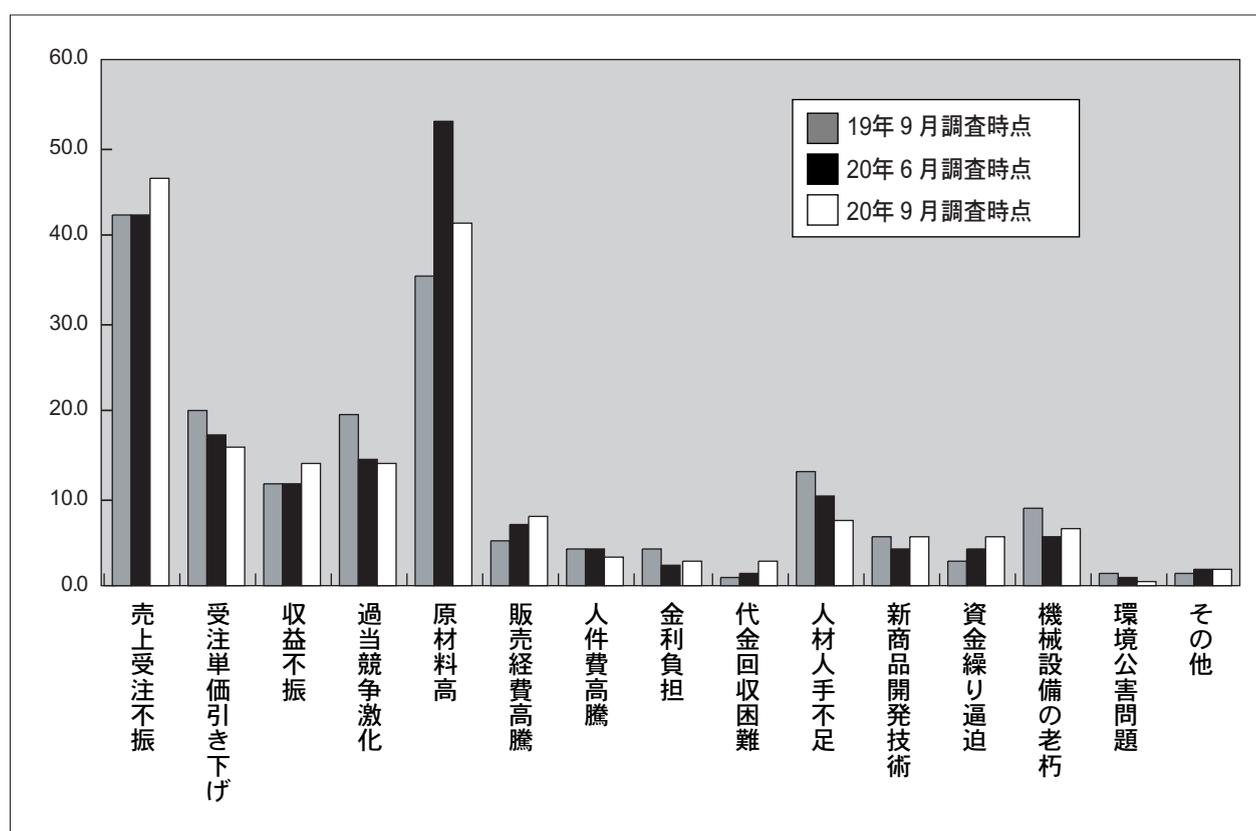


IX. 当面の経営上の問題点

□ (%:複数回答あり)

	19年9月 (前年)	20年6月 (前回)	20年9月 (今回)	20年9月 (今回)		前回は増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	42.3	42.1	46.4	(44.6)	(48.1)	4.3
受注単価引き下げ	19.9	17.4	15.8	(16.1)	(15.5)	-1.6
収益不振	11.7	11.7	14.0	(11.9)	(16.0)	2.3
過当競争激化	19.4	14.4	14.0	(7.7)	(19.9)	-0.4
原材料高	35.2	53.0	41.5	(50.0)	(33.7)	-11.5
販売経費高騰	5.1	7.1	8.0	(6.0)	(9.9)	0.9
人件費高騰	4.1	4.3	3.2	(0.6)	(5.5)	-1.1
金利負担	4.1	2.2	2.9	(3.0)	(2.8)	0.7
代金回収困難	1.0	1.6	2.6	(0.6)	(4.4)	1.0
人材人手不足	13.0	10.1	7.4	(6.0)	(8.8)	-2.7
新商品開発技術	5.6	4.3	5.7	(10.7)	(1.1)	1.4
資金繰り逼迫	2.6	4.3	5.4	(4.2)	(6.6)	1.1
機械設備の老朽	8.7	5.4	6.3	(6.5)	(6.1)	0.9
環境公害問題	1.3	1.1	0.6	(0.6)	(0.6)	-0.5
その他	1.5	1.9	2.0	(1.8)	(2.2)	0.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振46.4%(前期比+4.3ポイント)、②原材料高41.5%(前期比▲11.5ポイント)、③受注単価引下15.8%(前期比▲1.6ポイント)の順となっている。
- (2) 今回調査では、原材料高を問題点とする企業がやや減少した結果となっている。製造業では、60%以上の企業が原材料高を当面の経営上の問題点としていたが、今期は14.2ポイント減少し、50.0となった。減少したが、最も高いポイントとなっている。
- (3) 業種別では、製造業は原材料高が最も高く、次に売上受注不振となっている。非製造業では、売上受注不振、原材料高の順となり、同じ項目が上がっている。